

2022年11月24日

博報堂と三井物産グループ、クライアント企業に向けた 新商品の企画から販売までを一気通貫で支援する業務提携契約締結 ～三井物産グループ「株式会社ドットミー」に出資～

株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸、以下博報堂）は、三井物産株式会社（以下、三井物産）などが出資して設立した株式会社ドットミー（以下ドットミー）へ第三者割当増資を引き受ける形で出資参画するとともに、博報堂、三井物産、ドットミー3社で消費材メーカーなどのクライアント企業向けに新商品の企画から販売までを一気通貫で共同推進するための業務提携契約を締結したことをお知らせいたします。

博報堂は、2018年より三井物産と共に“生活者のつぶやきをマーケティング資産にかえる”英国 Black Swan Data 社の AI 予兆分析ツール“Trendscope”の国内導入を推進するなど、協業を続けてまいりました。その成果として現在ドットミーが運営する「Cycle.me（サイクルミー）」ブランドについて、“ブランディング領域の強みを供出しながら”試作開発から製造工程の構築期間含めてスタートから開発に伴走し、共同で PoC も進め、2021 年の本格ローンチを推進いたしました。

今回博報堂、三井物産、ドットミーの3社は、消費材メーカー企業などのクライアント企業向けに新商品の企画から販売までを一気通貫で共同推進するための業務提携契約を締結いたしました。Cycle.me ブランド運営で構築した知見を活かし、“Trendscope”データ分析による機会分析から商品開発・原料調達・製造・販売のバリューチェーンの DX 化により、スピーディな商品化を目指します。さらにドットミーを販売元とするテストマーケティングを行うなど、「独自の商品開発・販売スキーム」を、消費財メーカーを中心とした企業に提供してまいります。従来の商品カテゴリーや自社のみでの開発にとられない形で、様々な社外パートナーとも協業するアジャイル型での新しいブランドづくりが可能となります。

「独自の商品開発・販売スキーム」



今後、博報堂、三井物産、ドットミー3社一体となり、博報堂の生活者発想・クリエイティビティと三井物産グループのネットワーク力を掛けあわせ、クライアント企業とともにオープンイノベーション型の新商品開発及びブランドづくりを追求してまいります。



(左から博報堂常務執行役員 名倉健司、ドットミー代表取締役社長 知念孝祥ジョナサン、三井物産流通事業本部長 執行役員 長田務)

■三井物産について

三井物産は金属資源、エネルギー、プロジェクト、モビリティ、化学品、鉄鋼製品、食料、流通事業、ウェルネス事業、ICT事業、コーポレートディベロップメントの各分野において、全世界に広がる営業拠点とネットワーク、情報力などを活かし、多種多様な商品販売とそれを支えるロジスティクス、ファイナンス、さらには国際的なプロジェクト案件の構築など、各種事業を多角的に展開しています。

■ドットミーについて

ドットミーは、生活者のニーズを中心に据え、自前主義に縛られることなく、クライアントや協業する企業などのパートナーと一緒に志ドリブン/オープンイノベーション型の共同開発を積極的に手掛け、真に優れたブランドをつくっていくことを目指しています。自社ブランド事業の「Cycle.me(サイクルミー)」に加え、パートナーとの共同開発事業(味の素株式会社との共同開発ブランド「粥粥好日(カユカユコウジツ)」をテストローンチ済み)などを通じて、当社のビジョンとして掲げる「自分らしく生きる、をつくる。」を実現する商品を、生活者の皆さまにお届けしていきます。

本件に関するお問い合わせ

株式会社博報堂 広報室 下田・成田 koho.mail@hakuodo.co.jp